

2025/09●● ●●：00 ころ実施

レッドフラグ判定をお願いします 主訴 腰痛 背部痛 2. 3か月前からいたみ 仕事は出来ている 久々の来所 男性 6●歳>>発症年齢が 20 歳未満または 55 歳以上→はい 明らかな外傷歴(転倒、事故、重量物挙上など) → いいえ がん、免疫不全、ステロイド使用、HIV 感染の既往→ いいえ 原因不明の体重減少→いいえ 発熱・悪寒・全身状態の不調→ いいえ 安静時痛・夜間痛(体位や活動関係なく持続) → いいえ 胸部痛・腹部拍動性腫瘍・血管リスク→ いいえ 進行性の神経障害(筋力低下、感覚障害) → いいえ 馬尾症候群の症状(尿閉・尿失禁、便失禁、会陰部のしびれ) → いいえ 広範囲または高度の神経症状(認知性の麻痺、腱反射変化など) → いいえ 脊柱の構築性変形(円背、側弯、椎体崩壊など) → いいえ 限界局性の強い圧痛や腫脹(椎体部) →いいえ

ChatGPT:

ご提示のケースについて、整理して判定します。

主訴・背景

- ・ 男性 6●歳
- ・ 腰痛・背部痛、2-3 か月前から持続
- ・ 仕事は継続できている
- ・ 久々の来所

レッドフラグチェック結果

1. 発症年齢が 20 歳未満または 55 歳以上 → はい(6●歳)
2. 明らかな外傷歴 → いいえ

3. がん・免疫不全・ステロイド・HIV 既往 → いいえ
 4. 原因不明の体重減少 → いいえ
 5. 発熱・悪寒・全身不調 → いいえ
 6. 安静時痛・夜間痛 → いいえ
 7. 胸部痛・腹部拍動性腫瘍・血管リスク → いいえ
 8. 進行性神経障害（筋力低下・感覚障害）→ いいえ
 9. 馬尾症候群症状（尿閉・失禁、会陰部しびれ）→ いいえ
 10. 広範囲または高度の神経症状 → いいえ
 11. 脊柱の構築性変形（円背・側弯・椎体崩壊）→ いいえ
 12. 限局性の強い圧痛や腫脹（椎体部）→ いいえ
-

総合判定

- ・ レッドフラグ該当項目：発症年齢が 55 歳以上 のみ。
 - ・ 他のレッドフラグ（感染・悪性腫瘍・馬尾症候群・大血管疾患・進行性神経障害）は該当なし。
 - ・ したがって 単独のリスク因子（年齢のみ）であり、即時の緊急対応は不要 と考えられます。
-

臨床上の示唆

- ・ 年齢要因のみであれば、画像検査や精査の適応は状況に応じて検討（例：症状が進行、夜間痛・全身症状が新たに出現した場合）。
 - ・ 現時点では経過観察や保存的治療を継続しつつ、悪化や追加症状に注意が適切です。
 - ・ 特に 2-3 か月続いているため、改善が乏しい場合は**一次ケア医でのスクリーニング（X 線や血液検査）**を相談してもよいでしょう。
-

📌 結論:

この症例は「年齢による注意」が必要なグレーゾーン。現時点では重篤なレッドフラグはなく、経過観察で可。ただし悪化・新規症状があれば早期精査推奨。

このケース、患者さんやご家族への説明文も簡単に用意しましょうか？（「年齢的に少し注意は必要ですが、現時点で緊急の病気を疑う所見はありません」など患者向けに平易に書く感じで）

あなた:

ですよね なにかあれば病院を勧める かかりつけ医がないようなのでかかりつけ医を持つよう勧める、などの行動を促したいと思います ありがとう

ChatGPT:

はい、それが一番安心かつ安全な流れだと思います。

実際の説明ポイントとしては、例えばこんな感じにまとめられます:

患者さんへの伝え方の例

- ・ **現状:**「強い危険なサイン(発熱やしびれ、排尿障害など)はなく、今のところ急を要する所見はありません」
 - ・ **注意点:**「ただし、60歳という年齢は腰痛の原因として注意が必要な因子のひとつです。もし今後、夜も眠れない痛み、足の力が入りにくい、しびれや排尿の異常などが出た場合は、すぐに医療機関を受診してください」
 - ・ **行動提案:**「今は経過をみながら施術を続けられますが、万一のときに安心できるよう、ぜひ“かかりつけ医”を持っておくとよいです。健康診断や血液検査も含めて、まずは近隣の内科クリニックなどに一度ご相談されることをおすすめします」
-

ポイント

- **安心感と注意喚起の両立:**「今は大丈夫」だけでなく「でも念のためこうしておくと安心」という形にすると納得感が出やすいです。
 - **行動につなげる:**「かかりつけ医を持つ」ことを勧めるのは、単なる注意喚起で終わらず患者さんの行動を促す効果があります。
-

ご希望があれば、印刷して渡せるような **患者向け 1 枚メモ**(A4 で注意点+かかりつけ医推奨) の雛形も作れますが、作っておきますか？